

**TORO®**

# タンク洗浄リムス・キット

## Multi-Pro WM ターフ・スプレーヤ

モデル番号41241-シリアル番号 314000001 以上

**オペレーターズマニュアル**

**注** 前後左右は運転位置からみた方向です。

**⚠ 警告****カリフォルニア州  
第65号決議による警告**

米国カリフォルニア州では、この製品に、  
ガンや先天性異常などの原因となる化学物  
質が含まれているとされております。

米国カリフォルニア州では、この製  
品を使用した場合、ガンや先天性異常  
などを誘発する物質に触れる可能性が  
あるとされております。

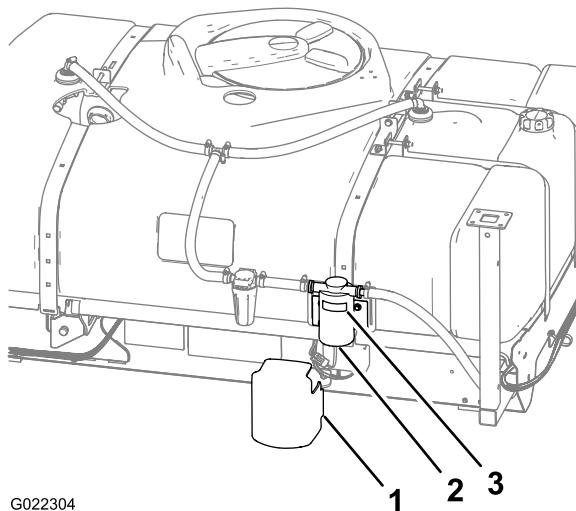
このキットは、液剤散布期のタンクやそのホースに  
残っている薬剤をすすぎ洗いするための装置です。  
このキットは、芝生に液剤を散布するための専用装  
置のための補助装置（アタッチメント）であり、そ  
のような業務に従事するプロのオペレータが運転操  
作することを前提として製造されています。

この製品は、関連するEU規制に適合しています；  
詳細については、DOC シート（規格適合証明書）  
をご覧ください。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十  
分に理解してください。オペレータや周囲の人々の人身  
事故や製品の損傷を防ぐ上で大切な情報が記載さ  
れています。製品の設計製造、特に安全性には常に  
最大の注意を払っておりますが、この製品を適切かつ  
安全に使用するのはお客様の責任です。

弊社に直接おたずねをいただく場合：[www.Toro.com](http://www.Toro.com)  
製品・アクセサリに関する情報、代理店についての  
情報、お買い上げ製品の登録などを行っていただく  
ことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分から  
ないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマー・  
サービスにおたずねください。お問い合わせの際に  
は、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知ら  
せください。モデル番号とシリアル番号を刻印した  
銘板の取り付け位置は図1の通りです。

**図 1**

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. カバー<br>2. ポンプ | 3. 銘板取り付け位置 |
|------------------|-------------|

**モデル番号** \_\_\_\_\_**シリアル番号** \_\_\_\_\_

# 安全について

この他、散布車両のオペレーターズマニュアルに記載されている安全事項や操作手順もよくお読みください。

## 薬剤の安全管理

### ▲警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壤などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- ・自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データ・シートなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守る。たとえば、保護めがね（ゴグル）、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることのできる適切な保護対策を講じる。
- ・散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。
- ・上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否すること！
- ・散布装置の取り扱いを開始するまえに、その装置を前回使用したあとに薬剤メーカーの指示に従って3回のすすぎ洗いや必要な中和処理が行われたかを確認し、さらに、すべてのバルブについてそれぞれ3回の開閉操作を行うこと。
- ・十分な量の水と石鹼を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。

- ・薬剤の取り扱いに関する適切な教育訓練を受けてください。
- ・目的にあった適切な薬剤を使用してください。
- ・薬剤を安全に使用するために、薬剤メーカーの指示を必ず守ってください。
- ・薬剤の取り扱いは換気のよい場所で行ってください。
- ・作業にあたっては保護めがね（ゴグル）など、メーカーが指定する安全対策を必ず実行してください。皮膚の露出ができるだけ小さくしてください。
- ・いつでも、特に薬剤タンクに薬液を作るときに、真水を手元に用意してください。
- ・薬剤を取り扱い中は、飲食や喫煙をしないでください。
- ・作業終了後は直ちに手足や露出部をよく洗ってください。
- ・使用しなかった薬液や薬剤容器は、メーカーや地域の規則に従って適切に廃棄してください。
- ・薬剤や薬剤からの蒸気は危険です。絶対に、タンクの中に入ったり、頭を入れたり、タンクの上に顔をさらしたりしないでください。
- ・国や自治体の法律や規則を守って散布作業を行ってください。

# 組み立て

## 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	すすぎタンクのブラケット すすぎタンク固定ベルト ボルト(3/8 x 3 インチ) フランジナット(3/8 インチ) ワッシャ(大) キャリッジボルト	2 2 2 4 4 4	すすぎタンクを取り付けます。
3	すすぎ用ノズル バルクヘッド・フィッティング ショルダーボルト ブッシュ すすぎベーン(羽根車) 90° 鋸歯フィッティング プラスチック製フランジナット	2 2 2 2 2 2 2	すすぎ用ノズルを取り付けます。
4	取り付けブラケット ポンプ フランジナット(3/8 インチ) ワッシャ(小) フランジナット(1/4 インチ) ボルト(1/4 x 1インチ) ストレート・バークフィッティング	1 1 2 4 4 4 2	ポンプを取り付けます。
5	フィルタ T 字フィッティング 15 cm ホース 101.5 cm ホース 42 cm ホース 61 cm ホース ホースクランプ ホース用グロメット すすぎポンプカバー ヘアピン	1 1 1 1 1 2 9 1 1 2	ホースとフィルタを取り付けます。
6	ダッシュボード・スイッチ	1	ダッシュスイッチを取り付ける。

# 1

## マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

- 散布車を平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取る。
- タンクと配管内部に残っている液体を排出する。詳細についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。

**注** 液剤を排出した後でも、ホースの一部に薬剤が残っている可能性がありますから、ホースを取り外す際には十分に注意し、またバケツなどを用意しておいてください。

- タンクスキッド・アセンブリからパネルを外す。

### △ 注意

農薬は人体に危険を及ぼす恐れがある。

- 農薬を使う前に、農薬容器に張ってあるラベルをよく読み、メーカーの指示を全て守って使用する。
- スプレーを皮膚に付けない。万一付着した場合には真水と洗剤で十分に洗い落とす。
- 作業にあたっては保護ゴーグルなど、メーカーが指定する安全対策を必ず実行する。

# 2

## すすぎタンクを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

2	すすぎタンクのブラケット
2	すすぎタンク固定ベルト
2	ボルト(3/8 x 3 インチ)
4	フランジナット(3/8 インチ)
4	ワッシャ(大)
4	キャリッジボルト

### すすぎタンク用固定ベルトの固定金具を取り付ける

- タンク上部でタンク前部固定ベルトをまとめて固定しているボルト、ナット、ワッシャを外す(図2)。

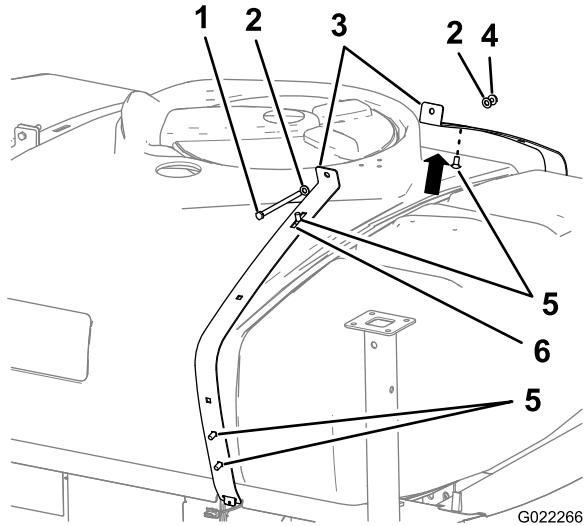


図 2

- |          |             |
|----------|-------------|
| 1. ボルト   | 4. ナット      |
| 2. ワッシャ  | 5. キャリッジボルト |
| 3. ストラップ | 6. スロット     |

**注** 外した部品は捨てないでください。

- タンク前部固定ベルトの内側のスロットにキャリッジボルト(4本)を取り付ける(図2)。

**注** これらのキャリッジボルトが落ちないように、3/8 インチのフランジナットで仮止めしておく。

- 先ほど外した、タンク固定ベルト用の締結具を使って、タンク固定ベルトをタンクに固定する(図2)。

**注** ベルトがタンクに確実に固定されていることを確認してください。ねじなどの固定具を締めすぎないように注意してください。

## すすぎタンクを取り付ける

1. すすぎタンクを取り付ける（図 3）。

**注** もし、すすぎタンクを取り付けるのに十分な空間がない場合には、メインタンクの固定ベルトをゆるめてメインタンクを後ろにずらしてください。

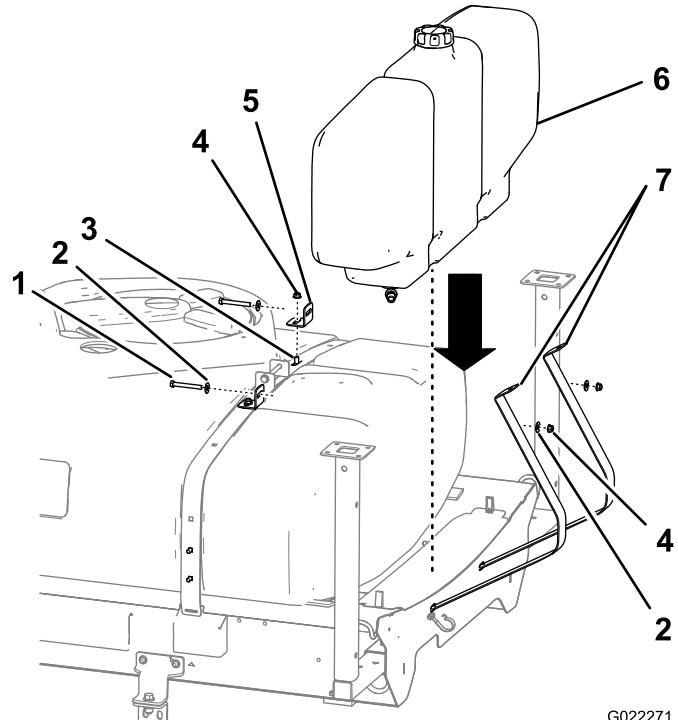


図 3

1. ボルト(3/8 x 3 インチ)  
2. ワッシャ(大)  
3. キャリッジボルト
4. フランジナット  
(3/8 インチ)
5. すすぎタンクの  
ブラケット
6. すすぎタンク
7. すすぎタンク固  
定ベルト

2. フランジナット2個を使って、すすぎタンクブラケットを、タンクベルトのキャリッジボルト2本に取り付ける（図 3）。
3. すすぎタンクベルトを、スプレーヤのフレームのスロットに通す。

- 注** すすぎタンク用の固定ベルトの取り付け時に、荷台のフレームを持ち上げる必要があるかもしれません；スプレーヤのオペレーターズマニュアルを参照してください。
4. すすぎタンク固定ベルトをブラケットに接続する；ボルト（2本）、フランジナット（2個）、大きいワッシャ（4枚）を使用して図3のように接続する。

**注** すすぎタンクに水を一杯に入れると、水の重量のためにタンクがさらに沈む場合がありますので、タ

ンク固定ベルトの状態をもう一度点検し、必要に応じて増し締めを行ってください。

# 3

## すすぎ用ノズルを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

2	すすぎ用ノズル
2	バルクヘッド・フィッティング
2	ショルダーボルト
2	ブッシュ
2	すすぎベーン(羽根車)
2	90° 鋸歎フィッティング
2	プラスチック製フランジナット

### メインタンクに穴を開ける

1. タンクのふたとストレーナバスケットを外す（図 4）。

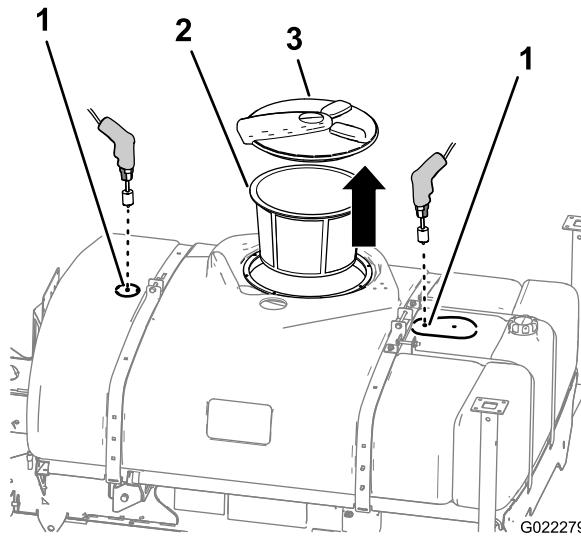


図 4

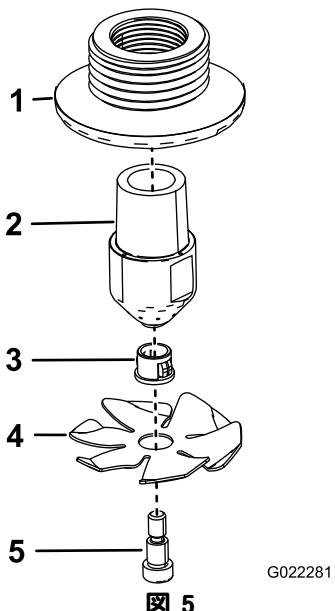
1. ドリル・マーク  
2. タンクのふた
3. ストレーナバスケット
2. メインタンクについているドリルマーク（2つ）を探し出す（図 4）。
3. 40 mm の円形ノコを使って、それぞれのマークのところに穴を切る（図 4）。

**注** ドリル作業時に出る削りかすを回収するために、タンクの内側の、ドリルで穴を開ける位置の下に回収容器を取り付けてください。

**重要** タンク内部に削りかすなどを残すと配管を詰まらせるなどのトラブルが発生する可能性が高くなります。

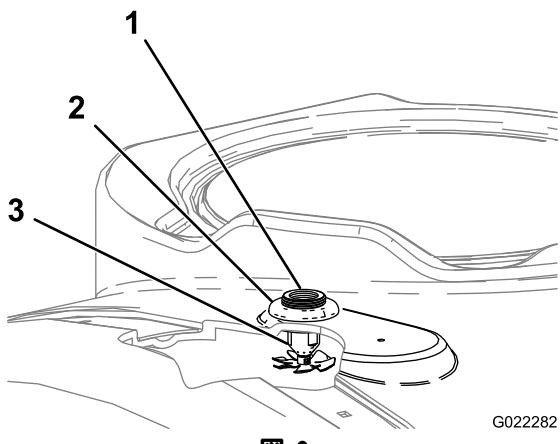
## すすぎ用ノズルを取り付ける

- 図 5 のようにすすぎ用ノズル2個を取り付ける。



- バルクヘッド・フィッティング
  - すすぎ用ノズル
  - ブッシュ
- すすぎベーン(羽根車)
  - ショルダボルト

- 先ほどあけた穴の下から上へ、ノズルアセンブリを取り付ける（図 6）。

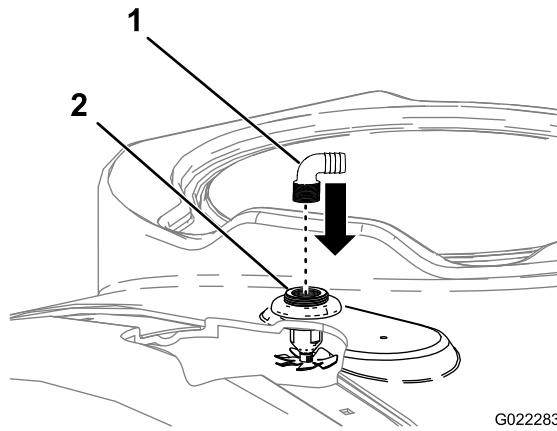


- バルクヘッド・フィッティング
- フランジナット

- タンク上部のバルクヘッドのねじ山に、プラスチック製フランジナットを取り付ける（図 6）。

**注** バulkヘッドのフィッティングとタンクの下との間のシールが正しく入っていることを確認する。

- すすぎ用ノズルのバルクヘッドのフィッティングのそれぞれの開口のねじ山に、90° バーブ（鋸歯）フィッティングを取り付ける（図 7）。



- 90度バーブフィッティング
- ノズルアセンブリ

- ホースのバーブ（鋸歯部）を、機体右側中央部に向ける。
- 先ほど外したタンクのふたとストレーナバスケットを元通りに取り付ける。

## 4

## ポンプを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

1	取り付けブラケット
1	ポンプ
2	フランジナット (3/8 インチ)
4	ワッシャ (小)
4	フランジナット (1/4 インチ)
4	ボルト (1/4 x 1インチ)
2	ストレート・バーブフィッティング

### 手順

- タンク前部固定ベルトの側部にあるキャリッジボルト (2本) に、すすぎポンプ用のブラケットを取り付ける；3/8 インチのフランジナットを使用する（図 8）。

# 5

## ホースとフィルタを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

1	フィルタ
1	T字フィッティング
1	15 cm ホース
1	101.5 cm ホース
1	42 cm ホース
2	61 cm ホース
9	ホースクランプ
1	ホース用グロメット
1	すすぎポンプカバー
2	ヘアピン

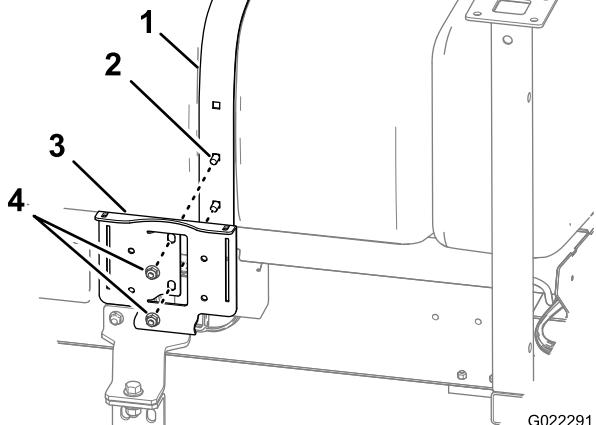


図 8

1. タンク固定ベルト
  2. キャリッジボルト
  3. 取り付けブラケット
  4. フランジナット
2. ポンプをフレームに固定する；ボルト4本、小さいワッシャ、ナットを使用する（図9）。

**注** いちばん上の2つのボルトを締め付け過ぎるとタンクに当たる恐れがありますから注意してください。

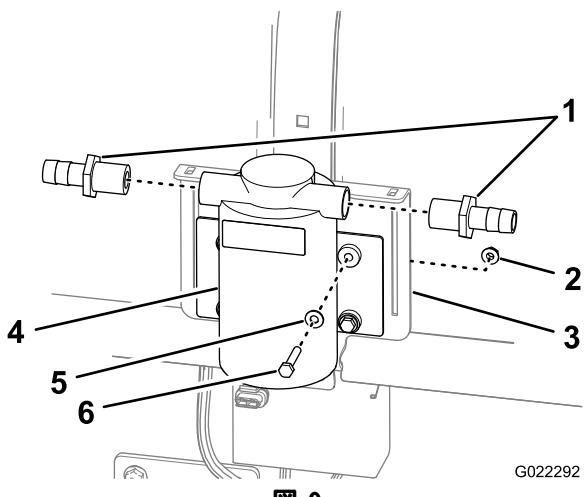


図 9

1. ストレート・バーブフィッティング
2. フランジナット（1/4 インチ）
3. 取り付けブラケット
4. ポンプ
5. ワッシャ（小）
6. ボルト（1/4 x 1-1/2 インチ）

3. ポンプの吸引ポートと吐出ポートに、ストレート・バーブフィッティング（2個）を取り付ける（図9）。
4. ポンプのワイヤハーネスを、車体のワイヤハーネスに接続する。

### すすぎノズルホースとT字フィッティングを取り付ける

**注** ホースフィッティングの端部（鋸状になっている）に植物油などを塗っておくと楽に接続することができるでしょう。

1. 先ほど取り付けたノズルアセンブリの90° バーブフィッティングのそれぞれに、61 cm ホースを取り付ける；ホースクランプ（2個）を使用する（図10）。

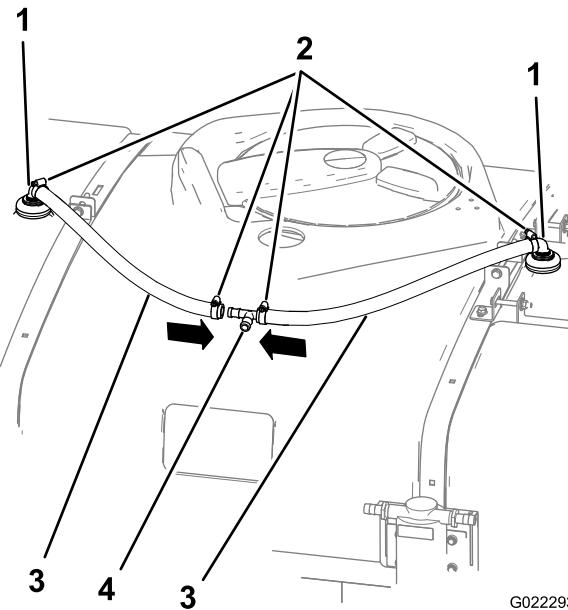


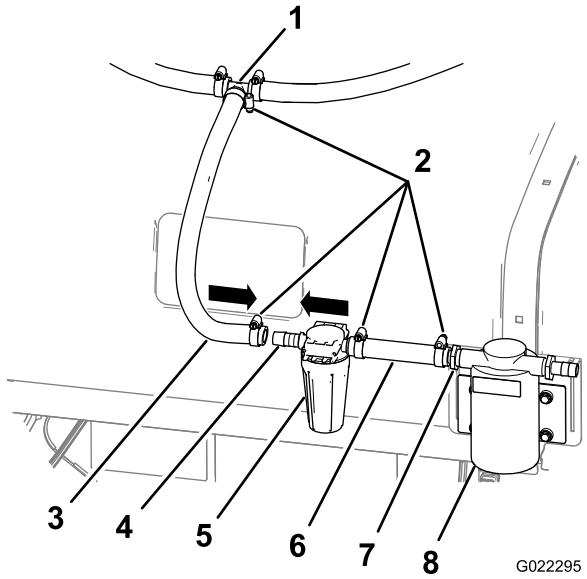
図 10

1. 90度バーブフィッティング
2. ホースクランプ
3. 61 cm ホース
4. T字フィッティング

- ホースの自由端を、T字フィッティングに接続する；ホースクランプ（2個）を使用する（図 10）。

## 給水ホースとすすぎフィルタを取り付ける

- 42 cm ホースの自由端を、T字フィッティングに接続する；ホースクランプを使用する（図 11）。



- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. T字フィッティング   | 5. すすぎフィルタ           |
| 2. ホースクランプ     | 6. 15 cm ホース         |
| 3. 42 cm ホース   | 7. ストレート・バーブ・フィッティング |
| 4. ホースのフィッティング | 8. ポンプ               |

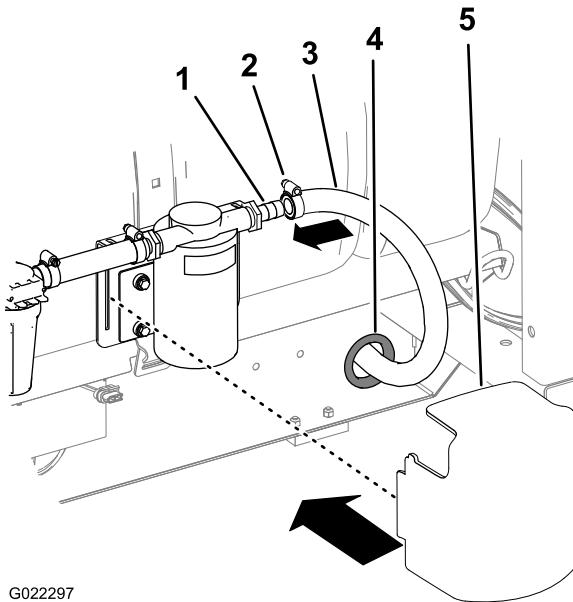
- ホースのもう一方の端を、すすぎポンプのフィルタに接続する；ホースクランプを使用する（図 11）。

**注** フィルタに印刷されている矢印がT字フィッティングを向くように取り付けてください。

- すすぎポンプのフィルタの反対側に、15 cm ホースを接続する；ホースクランプを使用する（図 11）。
- ホースのもう一方の端を、すすぎポンプの後部バーブフィッティングに接続する；ホースクランプを使用する（図 11）。

## すすぎタンク用ホースを取り付ける

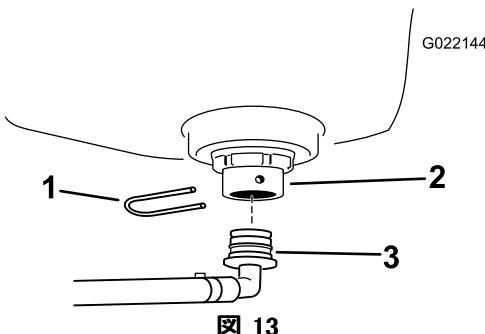
- ホースグロメットを、すすぎタンクの近くの、車体の右側の穴に取り付ける（図 12）。



- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. ストレート・バーブフィッティング | 4. ホース用グロメット |
| 2. ホースクランプ          | 5. すすぎポンプカバー |
| 3. 101.5 cm ホース     |              |

- すすぎタンクのホースバーブ（鋸歯状）をバルクヘッド・フィッティングに取り付け（スプレーヤのフレームの穴に向くように取り付けること）、リテナフォークで固定する（図 13）。

**注** 台とタンクを上向きにすると取り付け作業を楽に行えます。



- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. リテナフォーク        | 3. すすぎタンクホースバーブ |
| 2. バルクヘッド・フィッティング |                 |

- 先ほどフレーム側部に取り付けたガスケットにホースを通す（図 12）。
- 101.5 cm ホースの一方の端部を、すすぎポンプのストレート・バーブ・フィッティングに接続して、ホースクランプで固定する（図 12）。

5. ヘアピン2本を使用して、すすぎポンプの上からポンプカバーを固定する(図 12)。

# 6

## ダッシュスイッチを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

1	ダッシュボード・スイッチ
---	--------------

### ダッシュボード・スイッチを取り付ける

1. スプレーヤのコンソール上で、すすぎタンク用スイッチのプラグ(打ち抜き部)を探し出す(図 14)。

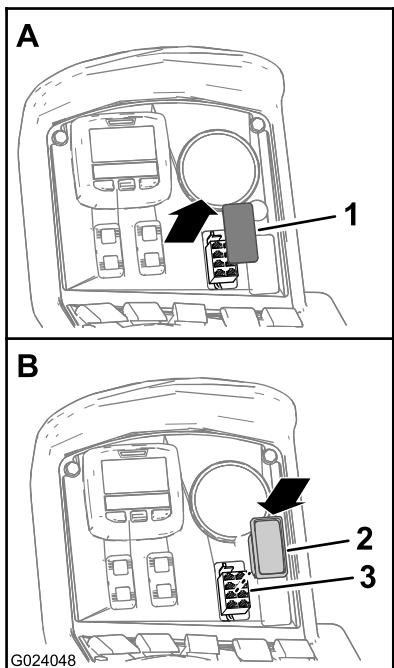


図 14

1. プラグ
  2. ダッシュボード・スイッチ
  3. すすぎタンク用ポンプへのコネクタ
- 
2. パネルをコンソールに固定しているボルト(4本)を取り外してパネルを外し、中にあるメインハーネスのコードからRinse Tankというラベルのついたものを探し出す。
  3. ボックス型コネクタにスイッチを取り付ける(図 14)。

**注**スイッチの方向に間違いがないことを確認する;上側を押したときには作動したまま、下向きに押すと作動停止となるのが正しい。

4. スイッチをダッシュボードに押し込むようにして取り付ける(図 14)。

# 運転操作

## タンク洗浄リムス・キットの使用方法

このタンク洗浄すすぎキットを使用すると、タンク内にすすぎ液、すなわち、残存薬剤の薄い液が得られます。多くの場合、すでに薬剤を散布し終わった場所にこの薄い薬剤を散布することに問題はありません。しかしながら、様々なケースが考えられますので、すでに薬剤を散布し終わった場所に、薄い薬剤を散布することで薬剤の効果に悪影響がないかどうかを、事前に薬剤メーカーに確認するようにしてください。

**重要** 水和剤を使用する時、水和剤をメインタンクに正しい方法で投入しないと、剤を配管などに詰まらせてしまう可能性がありますが、このタンク洗浄すすぎキットは、そのような詰まりを除去するためのものではありません。

### 各部の名称とはたらき

タンク洗浄すすぎキットは、1個のスイッチ（3ポジション）で操作します。

- ・ **上位置**：すすぎポンプが ON になり、スイッチはこの位置でロックし、遅延タイマーが作動します。
- ・ **ニュートラル**：すすぎポンプは OFF になり、スイッチは中間位置になります。
- ・ **下位置**：すすぎポンプが ON になりますが、スイッチを手でこの位置に保持しないとポンプは停止します；遅延タイマーは作動しません。

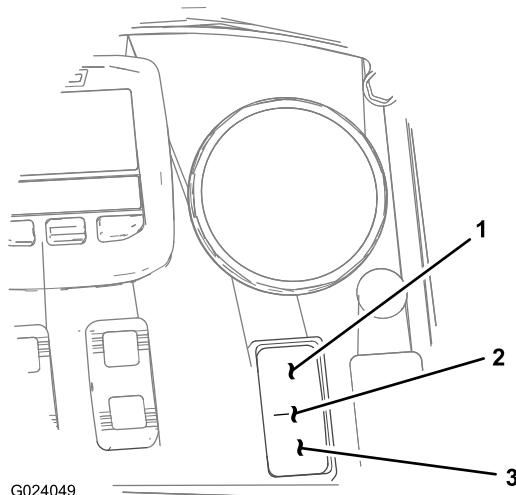


図 15

1. 上
2. ニュートラル
3. 下

スイッチを上位置にするとタイマーによる自動すすぎが行われます。ポンプが 69 秒間作動し、すすぎ

タンクの約 1/3 の量の水がメインタンクに送られます。この間、スイッチは上位置にあります。69秒後に、ポンプは停止します。スイッチ自体は上位置のままでありますので、手動で中央位置または手動位置に動かしてください。

スイッチがニュートラル位置にある時は、ポンプに通電されないので、すすぎキットは OFF 状態です。

スイッチを下位置にすると手動すすぎが行われます。スイッチを押している間だけ、ポンプが作動します。スイッチから手を離すと、スイッチはニュートラル位置に戻り、ポンプは停止します。スイッチを下位置に保持している間、ポンプが作動します。

### タンクに水を入れる

平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取る。

すすぎタンクのキャップを外し、タンクに一杯（約 76 リットル）の真水を入れてください。真水を入れたらキャップを取り付けてください。

**重要** すすぎタンク（76 リットル・タンク）にはきれいな真水以外は入れないでください。真水以外のものを入れると、安全上の問題や、装置の不具合が発生する可能性があります。

### すすぎサイクルの操作方法

すすぎサイクルを使用すると、移動走行を行ながらすすぎを実行することができます。

1. すすぎポンプを ON にする：
  - ・ タイマーによる自動すすぎを行う場合には、スイッチを上位置にセット。
  - ・ 希望する時間だけポンプを作動させたい場合にはスイッチを下位置に押す。
2. タンクに約 25 リットルほどの水が入ったころを見計らって、攪拌スイッチを ON にして攪拌ループに真水を送るとよい。
3. すすぎが終わったら、すすぎに使った液は法律に従って処分する。具体的には以下のいずれかの方法が可能：
  - ・ メインタンクが空になるまで、すすぎ液をブームから散布する。
  - ・ メインタンクのドレンバルブを開いて、適切な容器にすすぎ液を回収して処分する。

このすすぎサイクルを、あと 2 回繰り返すことができます。

# 保守

## すすぎポンプのフィルタを点検する

**整備間隔：** 使用開始後最初の 5 時間

50運転時間ごと

フィルタに破損の兆候がないか点検してください。フィルタが破損している場合には交換してください。

## すすぎシステムに漏れや破損がないか点検する

**整備間隔：** 使用するごとまたは毎日-ホースから液もれがないか点検してください。

使用開始後最初の 5 時間-ホースに破損がないか点検する。

100運転時間ごと-ホースとOリングに破損がないか点検してください。

最初の 5 運転時間後、すべてのホースについて、漏れの有無および破損の兆候がないか点検してください。ホースのクランプと、リテナフックを点検してください。どの接続部もゆるみがないことを確認してください。破損している部品はすべて交換してください。以上の点検を、すすぎシステムを使用する前に毎回実施してください。

100 運転時間後、全部のホースとOリングを点検してください。破損している部品はすべて交換してください。

交換部品についてはトロ社代理店にご連絡ください。

# 保管

格納期間が30日間以上にわたる場合には、ポンプの吸水ライン、吐水ライン、およびフィルターラインを外してください。

## すすぎタンク固定ベルトの点検

**整備間隔：** 使用開始後最初の 1 時間-すすぎタンク固定ベルトを点検してください。

メインタンクに水を入れ終わったら、タンク固定ベルトにゆるみがないかどうか点検してください。ベルトにゆるみがある場合には、ベルトの上部にある締め具を締めてベルトとタンクとが面一になるようになります。タンク固定ベルトのねじを締めすぎないように注意してください。

**重要** ベルトを締め付けすぎると、ベルトが変形したり破断したりする可能性があります。



# Toro 製品の総合品質保証

## 限定保証

### 保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワンティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品（「製品」と呼びます）の材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されます（エアレータ製品については別途保証があります）。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。  
\*アーマータを装備している機器に対して適用します。

### 保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店（ディストリビュータ又はディーラー）に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department  
Toro Warranty Company  
8111 Lyndale Avenue South  
Bloomington, MN 55420-1196  
  
952-888-8801 または 800-952-2740  
E-mail: commercial.warranty@toro.com

### オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられることあります。

### 保証の対象とならない場合

- 保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません：
- Toro の純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToro の純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
  - 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
  - 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
  - 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびペアリング（シールドタイプ、グリス注入タイプ）、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ペアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
  - 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
  - エンジンのための適正な燃料（ガソリン、軽油、バイオディーゼルなど）を使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

### 米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店（ディストリビュータまたはディーラー）へおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

### 部品

定期整備に必要な部品類（「部品」）は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

### ディープサイクルおよびリチウムイオン・バッテリーの保証：

ディープサイクル・バッテリーやリチウムイオン・バッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量 (kWh) が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなっています。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。

注：（リチウムイオンバッテリーについて）：リチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証（補償額遞減方式）となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

### 保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンアップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関する費用はオーナーが負担します。

### その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されます、が、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

### エンジン関係の保証について：

米国においては環境保護局 (EPA) やカリフォルニア州法 (CARB) で定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。